



社内外のあらゆるシーンでズメンを活用。デジタル化を進め、新たな事業分野への進出も。

有限会社野澤鉄工

部品加工 金属切削 35名規模

多様な設備と熟練の加工技術で高品質の製品を提供



野澤常務)

有限会社野澤鉄工は、茨城県古河市で切削加工を中心に扱っている会社です。1950年の創業以来、自動車部品を中心に、農業、船舶部品など様々な生産加工を行なっています。

当社は多様な工作機械を揃えており、バー材、異形材、複雑な形状の加工など幅広いニーズに柔軟に対応できることが強みだと思っています。中でも、チャッカー機という後加工が可能な旋盤機を35台ほど持っていることは他社との大きな違いですね。

変わった形状を掴む爪の成形技術も強みのひとつです。通常の削り出しだと工数も費用もかかってしまうところを、鍛造品など複雑な形状からの加工ができるので、工期の短縮、費用を抑えながら高品質の製品を提供できています。

文書管理システムを導入するも、浸透せず余計煩雑に



野澤常務)

図面や関連書類は紙で管理していて、探すのに時間がかかっていました。以前から文書管理システムは導入していたものの、登録やレイアウトの手間もあり、全員に浸透していないというのが実情でした。図面も全て取り込んでいたわけではないので、紙で管理している資料とクラウド上で管理している資料があり、余計煩雑になっていたように思います。

また、工場内は油の飛散がひどく、紙だと図面がすぐだめになってしまうんですね。図面だけでなく帳票類も電子化したいと思っていた時にズメーンを紹介されました。「図面を起点に関連資料を紐付けられて、スマホでも見れる」と聞いた時点で「良さそうだ」と思い、価格設定もリーズナブルだったので即決しました。長年の課題を解決できること、費用感、タイミング、全てがハマりましたね。

様々なシーンで活用し、あらゆる業務を効率化



野澤常務)

現場で図面を確認する時はもちろん、社内での案件管理や外出先での問い合わせ対応、お客様との打ち合わせなど、様々なシーンでズメーンを活用しています。場所を選ばず、いつでもどこでも見られるのが何よりありがたいですね。図面だけでなく、紐付けている資料や情報も圧倒的に探しやすくなりました。

以前はお客様との打ち合わせに出かける前に必要になりそうな資料を探し出してまとめておく必要があったのですが、現在は基本的にはスマホひとつです。資料を準備する手間も忘れる心配もないですし、不具合の履歴や詳細な情報を求められたときにもその場ですぐに回答でき、お客様からの信頼獲得に繋がっています。

今後、社内での活用の幅をさらに広げ、新しい機能なども積極的に活用していこうと思っています。

新たな事業分野への進出と、デジタル化の推進



野澤常務)

現在は自動車部品の切削加工が中心ですが、EV化による自動車部品業界の今後を見据え、異なる事業分野への進出を進めています。これまでは大ロットの量産部品が多かったですが、品種を増やし、中ロット小ロット部品のシェアを獲得していきたいと思っています。

ズメーンの導入を機にさらなるデジタル化も進めていきたいですね。稼働監視システムも最近導入したので、生産性や品質の向上を図り、今後も切削加工業界の一翼を担っていければと思います。

工程管理や生産管理をズメーンでできるようになるとさらに便利になると思っています。定期的なヒアリングや改善要望の反映など導入後のサポートが手厚く、アップデートのスピードも速いので、今後より使いやすく便利になっていくことを期待しています。

ズメーン

関連資料もまとめて保存できる図面管理システム

株式会社Fact Baseは、町工場を主役にした「ものづくり」のデジタル化を推進しています。

TOP

ズメーンとは

機能

導入の流れ・サポート体制

導入事例

料金

資料請求・お問合せ

運営会社

利用規約

プライバシーポリシー

ログイン